

中学校社会科単元計画【公民的分野：地方の政治と自治】

【単元のねらい】「持続可能なまちづくりのために、〇〇市はどのような政策を進めるべきか。」という学習課題を追究する活動を通して、地方自治の仕組みや役割、地方財政の特色を理解させるとともに、地方自治への関心を高め、より現実的な「持続可能なまちづくり」のための政策を提案できるようにする。

【単元のめあて】持続可能なまちづくりのための政策を提案しよう。

【単元の課題】持続可能なまちづくりのために、〇〇市はどのような政策を進めるべきか。

1時	【課題】〇〇市の魅力と課題は何か。	【活動】〇〇市の魅力と課題を班で出し合い、自然、産業、人口等に分類して整理する。	【まとめ】〇〇市は自然に恵まれ、漁業や農業、観光業等の産業が盛んであるが、過疎化が進んでおり、課題となっている。
2時	【課題】市長・議会・住民はどのような関係なのか。	【活動】市長・議会・住民の関係を表す資料や直接請求権に関する資料から、それぞれの関係を読み取る。	【まとめ】市長と議会はお互いに監視し合い、権力が集中しないようにしている。住民は議員と市長を選挙で選び、議会の解散などの直接請求権が認められている。
3時	【課題】〇〇市の財政の特色や課題は何か。	【活動】〇〇市の予算のグラフを全国平均と比較して特色や課題を話し合う。	【まとめ】歳出は福祉などに使う民生費多く、歳入は地方交付税など国から得るお金が半分近くを占めている。国や県に依存し、自主財源が乏しいことが課題である。
4時	【課題】若者が住みたいと思える魅力あるまちづくりのために何をすべきか。	【活動】「住みたい田舎ランキング」の上位の地方の取組に関する資料を参考に、政策を考える。	【まとめ】子育てや医療、仕事、防災など、若者が住みたいと思えるような政策を多角的に考えていく必要がある。
5時	【課題】若者が住みたいと思える魅力あるまちづくりの政策を立案する際に、重視すべき点は何か。	【活動】前時に個人で考えた政策を班で検討し、ランキング付けをして、政策を立案する際に重視すべき点を話し合う。	【まとめ】魅力あるまちづくりの政策を立案する際に重視すべき点は、限られた予算の中で、住民が日々の生活を余裕をもって安心して送れるようにすることである。
6時	【単元のまとめ】(視点)「持続可能なまちづくりのための政策」というタイトルで、〇〇市の魅力や課題、財政等を考慮して、各自で政策の提案書を作成することを通して、本単元のまとめとする。		
7時	【単元の振り返り】(視点)作成した政策の提案書を発表し合い、その政策は実現可能か、効果があるか、意見交換をすることを通して、単元を振り返る。		